



コロナ禍で話題になった「マスクのひも」も。親子で新商品を開発

A. Y. Judie 社長 土屋 香南子さん (32歳)
 会長兼デザイナー 土屋 順子さん (62歳)



常に頭の片隅には開発中の商品のことがあるという土屋順子さん(左)と香南子さん親子。素材選びや展示会も一緒に出掛ける。親子というよりもビジネスパートナーのよう。

新型コロナウイルスの影響でマスクが品薄となり、手作りする人が増えると、今度は材料までもが不足していった。そんな中、手元にあるハンカチを簡単にマスクの代用にできるクリップ付きゴム「なんでもマスク」が全国的に注目された。オンラインの予約販売分が1分たたずに売り切れる状態が10週も続いたというこのアイデア商品、実は市区の会社で作られている。

もともと雑貨のバイヤーをしていた現会長の土屋順子さんだが、自分が使いたいと思えるものにはなかなか出会えなかった。ならばデザインに優れ、使い勝手がいいものを自ら作ろうと2006年に生活雑貨の企画販売「A. Y. Judie」を設立。数年後には長女で現社長の香南子さんもスタッフに加わった。新商品のアイデアは互いに話し合っ



商品の情報・購入はホームページ参照 <https://ayjudie.com/>



便利性のいいビューライン沿いながら木立を抜ける風が心地い立地

て、発信していくのは香南子さんの担当。スタッフの意見や反応も見ながらすすめる。今年3月には香南子さんが社長に就任。元来ものづくりが好きな順子さん、「これでデザイナーに専念でき、今が楽しくて仕方ない」という。

取り扱うのは名札ケースやパスケースなどで、若い会社員層がターゲット。販売は大型雑貨店やオンラインが中心で商圏は全国だ。「良い商品さえあれば販路拡大は難しくありません。それよりも生産体制の面で信用を築き、良いものを作ってもらうのが難しいんです。東信地方の気質なのか、取引先の皆さん妥協せずにつけてくれます。国産にこだわっているうちにとって、地元での人脈こそが財産なんです」と香南子さん。

(取材・文 村松 マヤ)

夏本番とココナッツ

ゆらさんの四季の薬膳



8月、いよいよ夏本番です。汗がダラダラ。その分からだにとって必要な水分(体液)が減少。この体液を補うことが、夏をご機嫌に過ごすカギとなります。水分なら水を飲めばいい、と思えますよね。薬膳では水だけでなく、食物も体液を補う重要な役割を担っていると教えてくれます。体液を補う作用のあるきゅうりやトマトなどの夏野菜たち、梨、ぶどう、西瓜、メロンなどと一緒この夏注目してほしいのが、ココナッツです。最近ではココナツミルク、ココナツオイル、ココナツウォーター、ココナツシユガーと種類も豊富。ココナツには中鎖脂肪酸が含まれ、この脂肪酸は即エネルギー源となるにもかかわらず、脂肪が蓄積されにくい。つまり抗動脈硬化があり、肥満になりにくいのです。最近ココナツオイルの認知症予防効果も注目されています。島崎藤村の「椰子の実」が21世紀に再び脚光を浴びるなんて楽しいと思いませんか。(国際中薬薬剤師 小清水由良)